

2008年4月11日

砂漠化防止プロジェクト参画について

株式会社日本触媒

日本触媒は、このほど新疆林業科学院(中国林業局、中国林業科学院、新疆分院)から砂漠化防止技術研究プロジェクトへの協力要請をうけ、同プロジェクトに参画することを決定しました。

当社は、中国の新疆ウイグル自治区において新疆林業科学院等の協力を得て、当社の高吸水性樹脂(SAP)を使用した植林実地試験を実施しています。

このたび、同プロジェクトに参画することで、当社の高吸水性樹脂技術と新疆林業科学院の優れた緑化技術が結びつくことにより、砂漠緑化が実現に向けて大きく前進するものと考えています。

また今回のプロジェクトの目的である砂漠オアシスの防風砂漠固定化技術の確立は、中国に限らず全世界の砂漠化防止に役立ち、地球温暖化の問題解決にも貢献することが期待されます。

新疆林業科学院「砂漠化防止技術研究プロジェクト」の概要

- ・ 目的 : 「防風砂漠固定化の体系的構築技術の研究 (の実施) と試験モデル (の構築)
- ・ 実施時期 : 2008年～
- ・ 場所 : 新疆タクラマカン砂漠南部乾燥地帯
- ・ 実施主体 : 新疆林業科学院
- ・ 予算 : 120万元

[新疆林業科学院: 1995年設立 2004年より国家林業局の中国林業科学院新疆分院
砂漠緑化、都市緑化等の研究・普及活動を実施]

当社は、テクノロジーをもって人と社会に豊かさと快適さを提供する「テクノアメニティー」を企業理念としており、高吸水性樹脂をはじめさまざまな製品や日々の活動を通して社会に貢献することが当社の最大の使命と考えています。

当社は、今回の新疆ウイグル自治区における同プロジェクトへの参画とは別に、中国内モンゴル自治区での「地球温暖化防止と日中友好の森」づくり植林活動や日本国内での「日本触媒・水源の森」森林整備活動が2008年度からスタートします。新たな社会貢献活動の一環として地球温暖化防止活動にも積極的に取り組んでまいります。

以上

本件に関する問い合わせ先

総務部広報グループ 03-3506-7477